

4 - 1 伊豆半島付近の地震活動 (1984年11月～1985年4月)

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (November, 1984 -April, 1985)

東京大学地震研究所

地震予知移動観測室 (地震移動班)

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

I) 1984年11月, (第1図);

伊豆半島東方沖で活動が続いている。11月5日13時46分, M3.0が最大の地震(網代で震度I)であった。11月29日8時47分, M2.3の地震(伊豆大島で震度I)が伊豆大島南西岸沖で発生した。

II) 1984年12月, (第2図);

伊豆半島東方沖で M0.6～2.7の地震が10ケほど発生したが活動は全般的に静穏である。駿河湾で12月4日～9日に M1.0～2.1の地震が5ケ発生した。12月14日1時36分 M1.2の地震(伊豆大島で震度I)が伊豆大島の東部で発生した。

III) 1985年1月, (第3図);

伊豆半島東方沖で1月20日6時32分～11時37分にかけて M0.7～2.5の地震が群発した。

IV) 1985年2月, (第4図);

伊豆半島東方沖で2月1日(M2.0), 5日(M0.5), 9日(M1.3)の地震が発生した。11日には M3.2の地震が発生し網代で震度Iであった。その後21日までに4ケの地震が発生したが M0.5～1.2の微小地震である。この震央域は1984年9月を中心とした群発活動域と一致する。

V) 1985年3月, (第5図);

2月に引き続き伊豆半島東方沖では $M < 2.0$ の地震が発生しており3月18日までに7ケを数えた。3月16日頃より川奈崎沖で群発活動がはじまった。地震の発生数のピークは3月21日, 22日および3月27日にみられる(関東甲信越地方における地震活動(1984年11月～1985年4月, 地震研究所)。地震の発生回数がきわめて多いにもかかわらず3月中の最大地震は3月20日20時14分, M2.0であった。活動域は西側半分が陸部に入り東西方向に約5kmのびている。3月30日から4月4日にかけて活動がややおさまった。

VI) 1985年4月, (第6図);

4月9日頃から活発化の傾向がみえた。13日, 15日に地震発生数の小さなピークがあり,

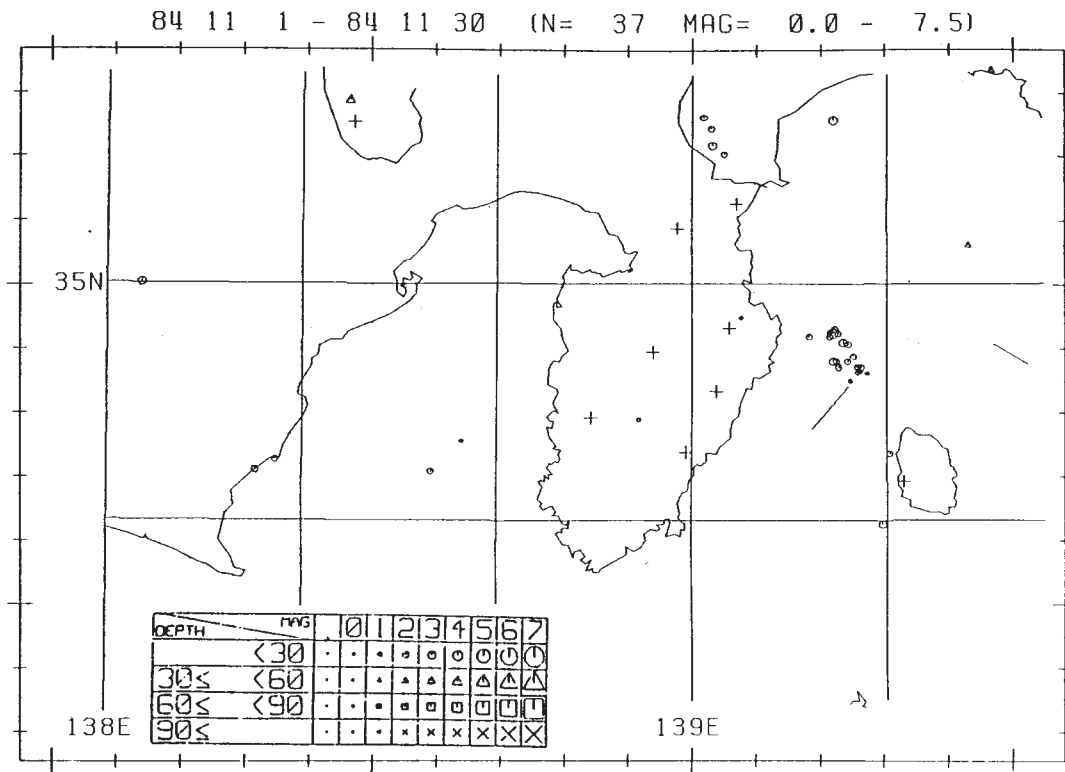
17日、18日に17日15時59分、 $h = 10\text{km}$ 、M2.6および18日15時11分、 $h = 7\text{km}$ 、M2.9を含む最大の活動のピークをむかえた。18日のM2.9の地震がこの一連の群発活動の最大地震であった。4月14日17時39分、M3.2の地震が伊豆大島西方沖で発生し、4月19日8時42分、M2.3の地震が伊豆大島の南岸沖で発生している。

第7図および第8図はそれぞれ1985年3月、4月の川奈崎付近の群発活動の震央分布である。図8の東西の走向をもつ長さ5kmの震央分布をみると活動域の北半分に特に震央が集中していることがわかる。

1985年3～4月の活動域との比較のために

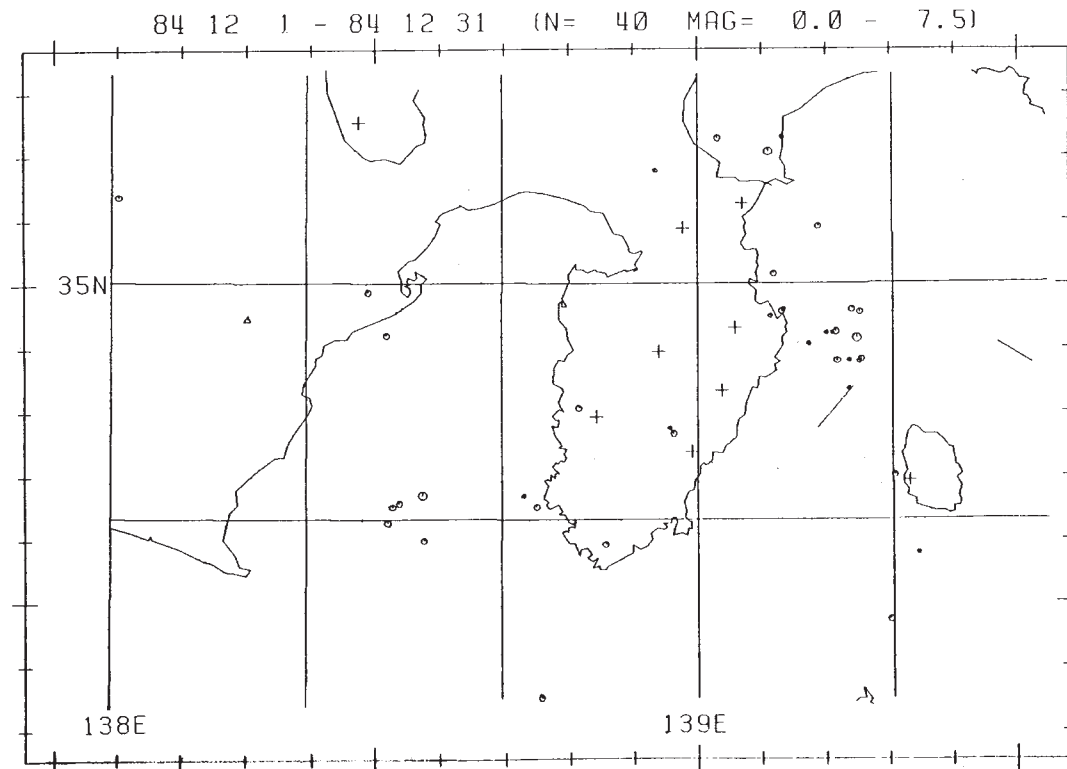
- ① 1978年11月～12月 (最大地震 M5.4),
- ② 1979年3月 (最大地震 M3.1),
- ③ 1979年5月 (最大地震 M3.8),
- ④ 1980年6月～7月 (最大地震 M6.7),
- ⑤ 1982年3月 (最大地震 M2.2),
- ⑥ 1982年5月 (最大地震 M2.7),
- ⑦ 1982年9月 (最大地震 M3.9),
- ⑧ 1983年1月 (最大地震 M4.5),
- ⑨ 1984年9月 (最大地震 M4.5),

のそれぞれの期間における伊豆半島東方沖の地震活動の震央分布を第9図-(a)～(i)に示した。これから⑤、⑥、⑦、⑧の活動域が今回のものと重畳あるいは近接し、ほぼ東西方向の走向をもつ。とくに⑤の1982年の3月の活動域は今回のものと良く一致する。



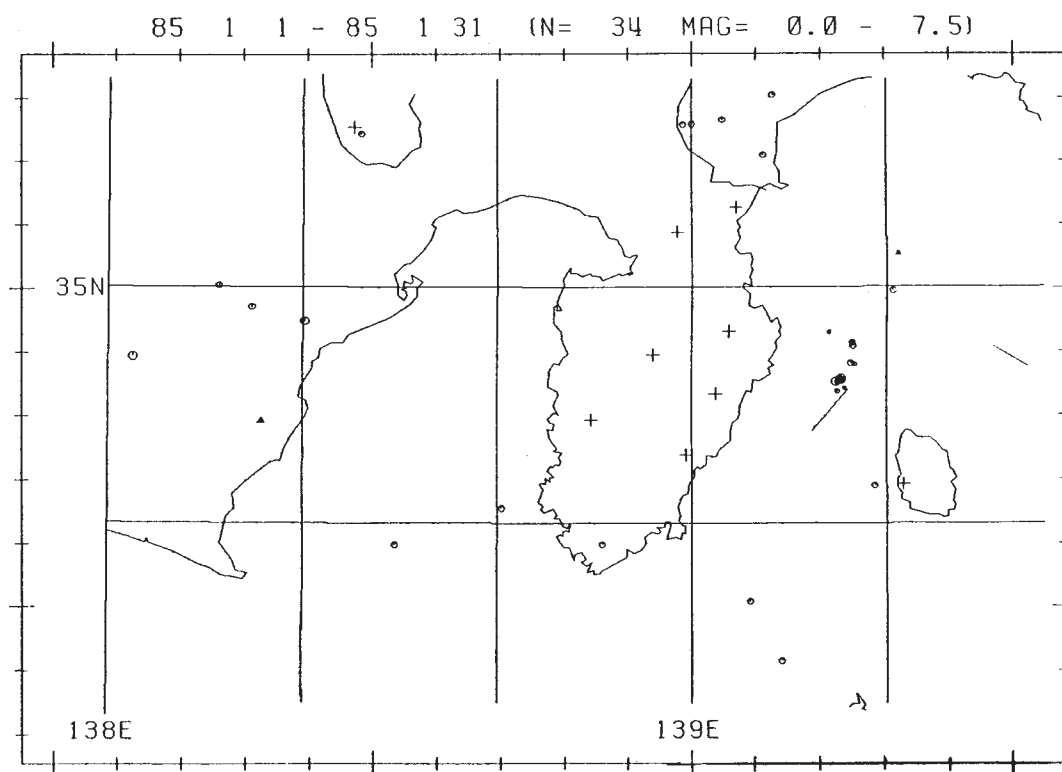
第1図 1984年11月の震央分布図

Fig. 1 Distribution of epicenters in November, 1984.



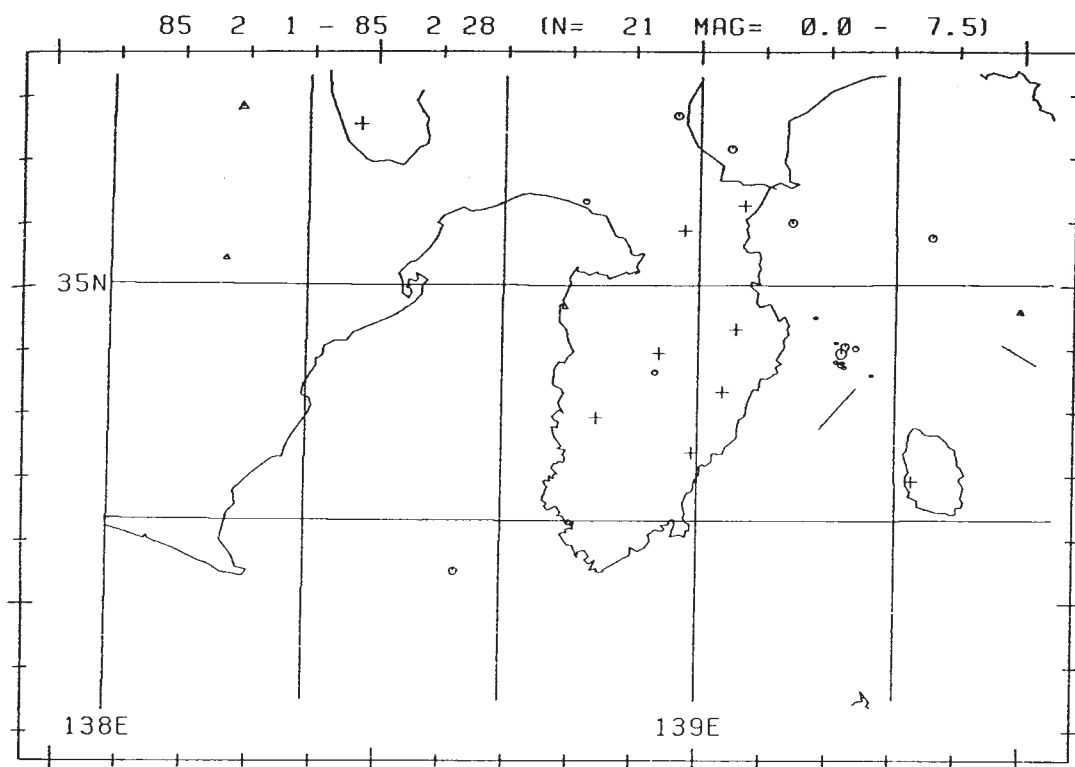
第2図 1984年12月の震央分布図

Fig. 2 Distribution of epicenters in December, 1984.



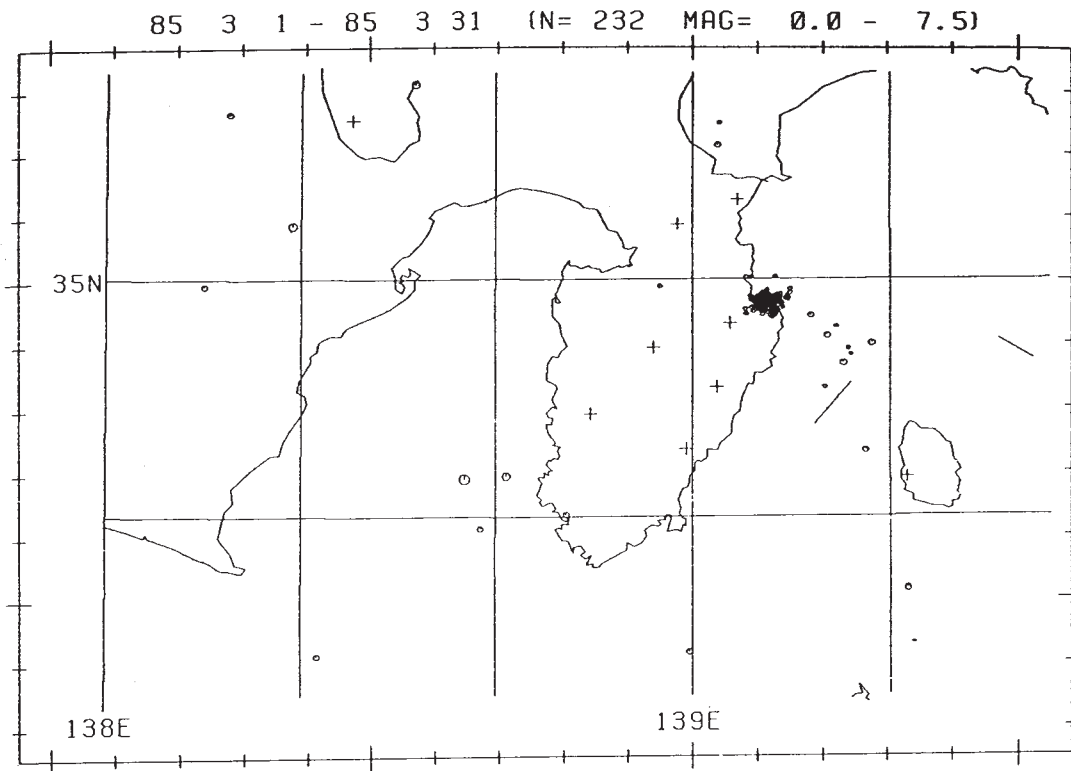
第3図 1985年1月の震央分布図

Fig. 3 Distribution of epicenters in January, 1985.



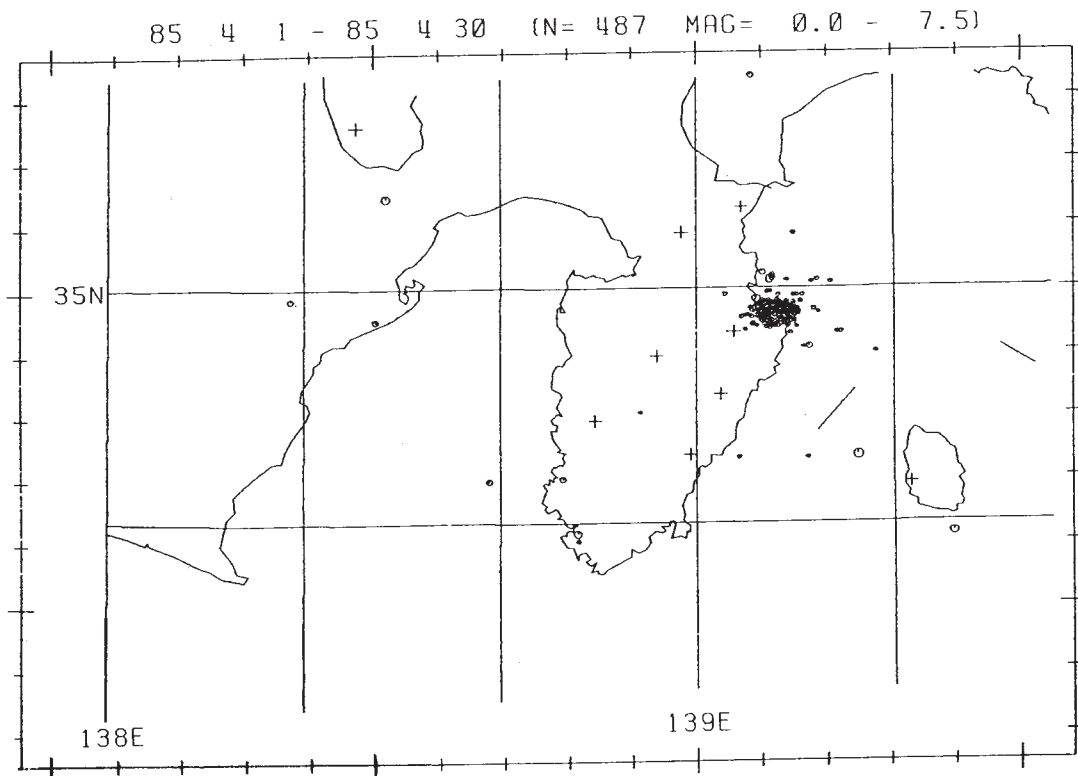
第4図 1985年2月の震央分布図

Fig. 4 Distribution of epicenters in February, 1985.



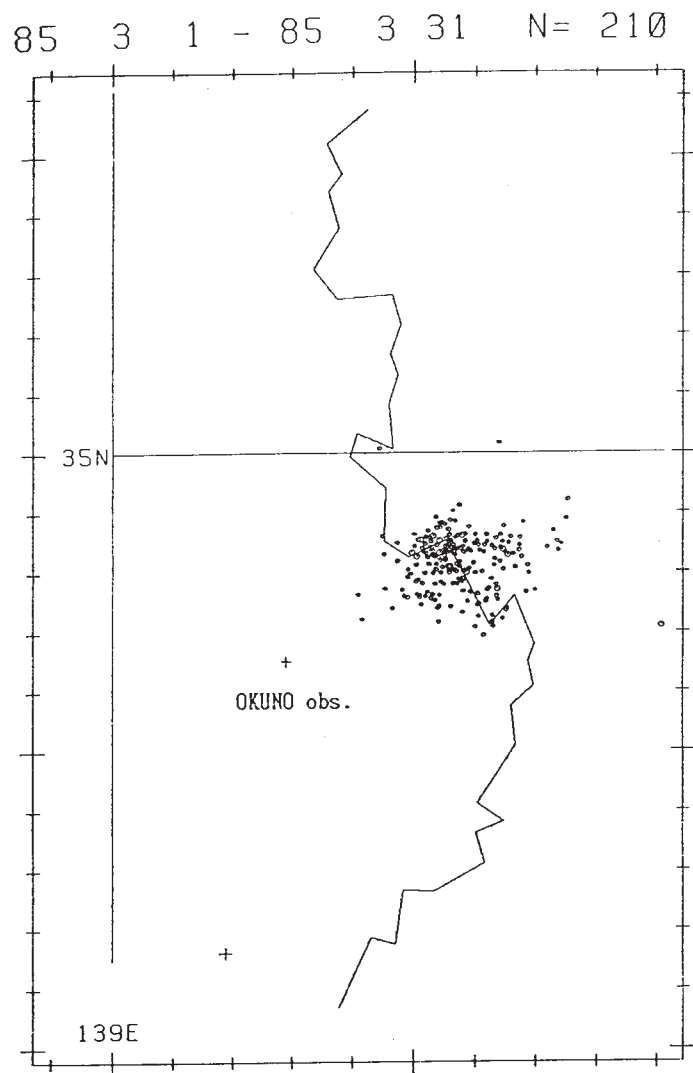
第5図 1985年3月の震央分布図

Fig. 5 Distribution of epicenters in March, 1985.



第6図 1985年4月の震央分布図

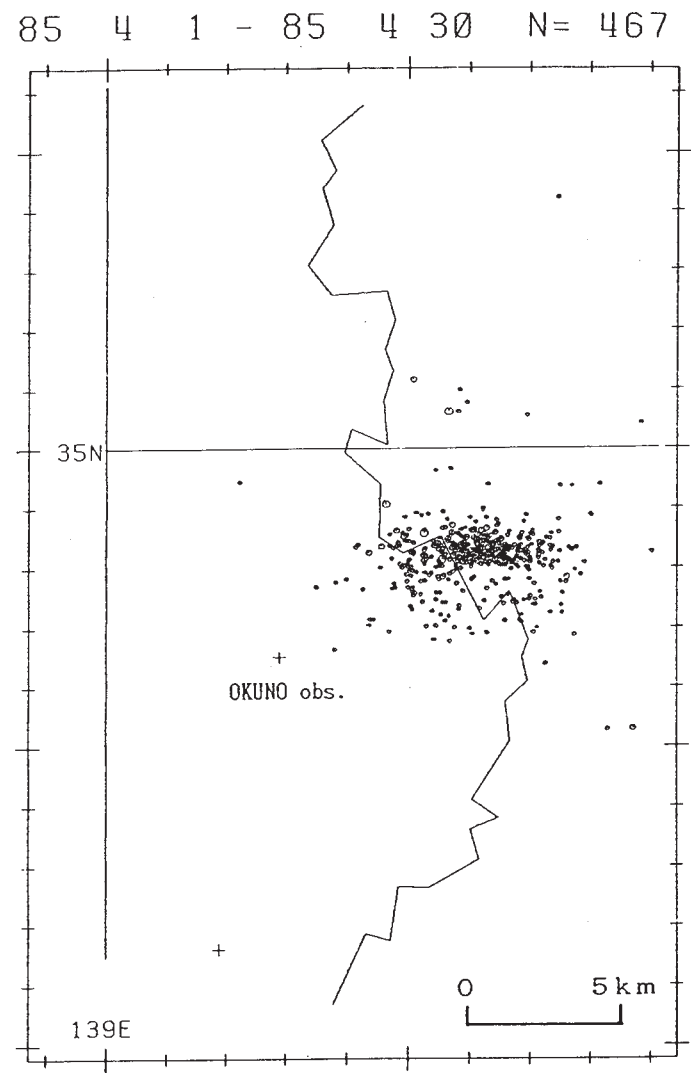
Fig. 6 Distribution of epicenters in April, 1985.



第7図 1985年3月の川奈崎付近の震央分布

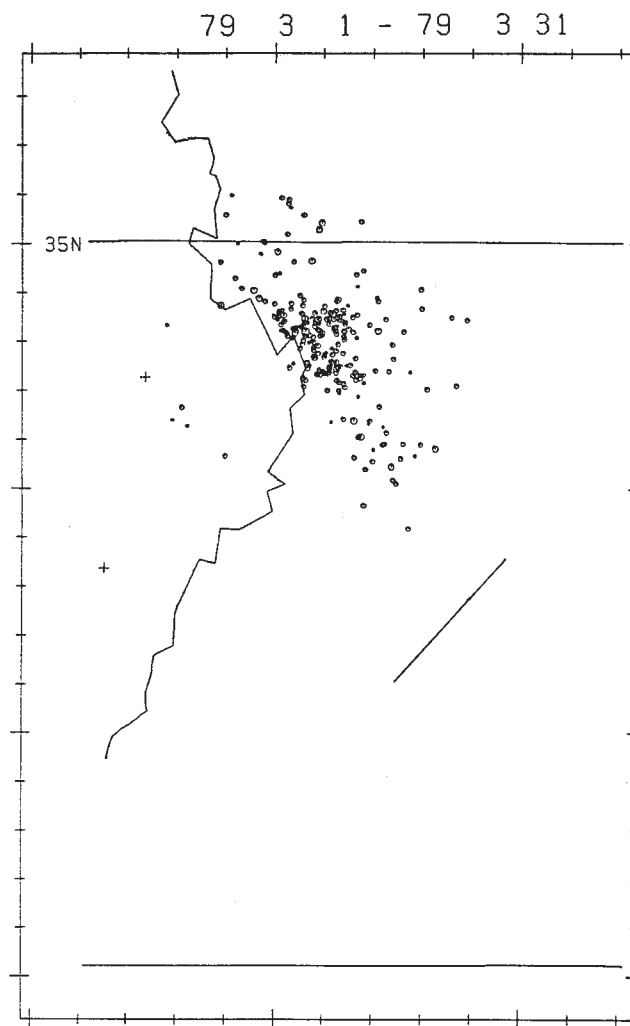
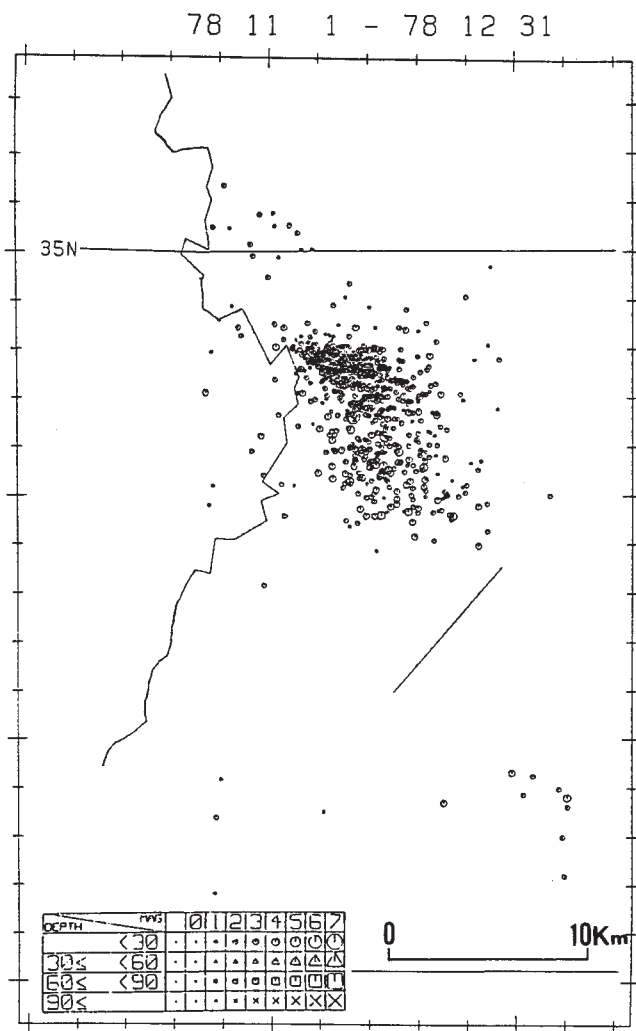
Fig. 7 Distribution of epicenters in March, 1985 near Kawana-zaki.

DEPTH	FWG	0	1	2	3	4	5	6	7
<30	
30≤ <60	
60≤ <90	
90≤	



第8図 1985年4月の川奈崎付近の震央分布

Fig. 8 Distribution of epicenters in April, 1985 near Kawana-zaki.



第9図 - (a) ~ (i) 伊豆半島東方沖周辺の震央分布

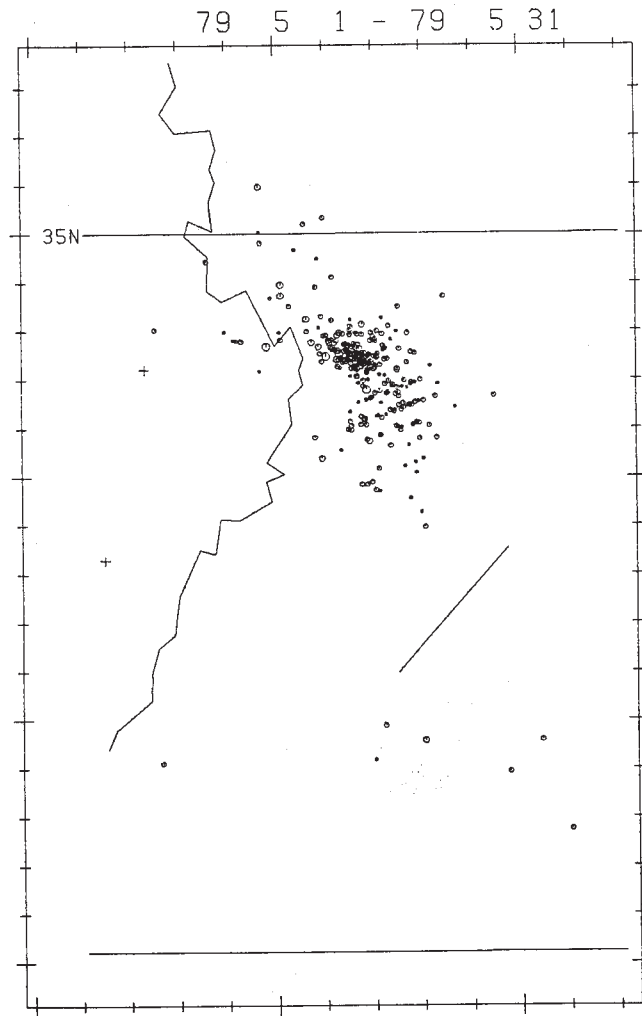
Fig. 9 - (a) - (i) Distributions of epicenters off east coast of the Izu Peninsula in the periods of

(a) 1978年11月~12月

(b) 1979年3月

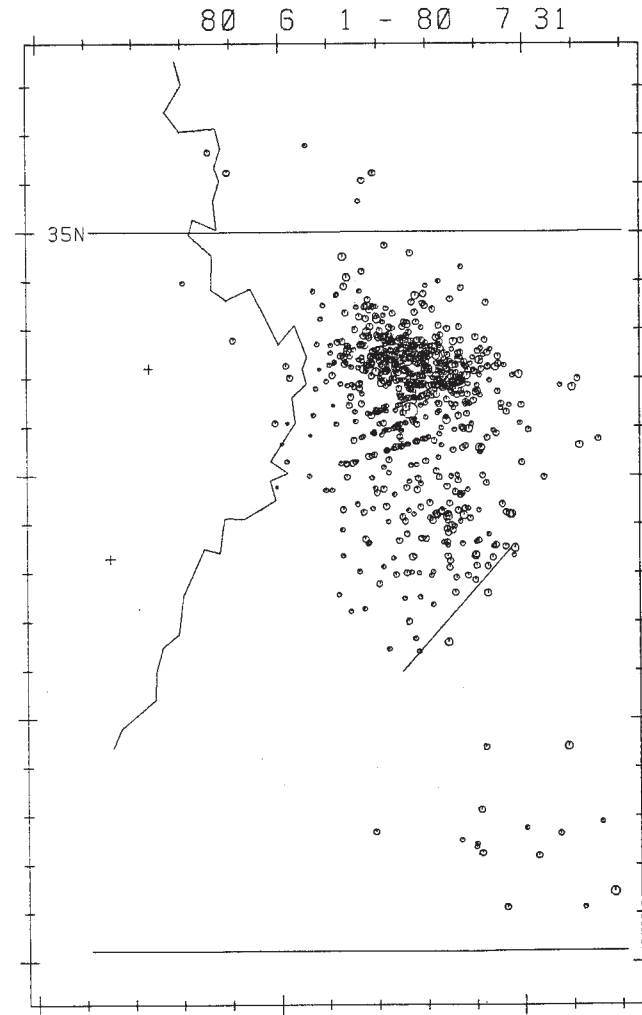
(a) November - December, 1978.

(b) March, 1979.

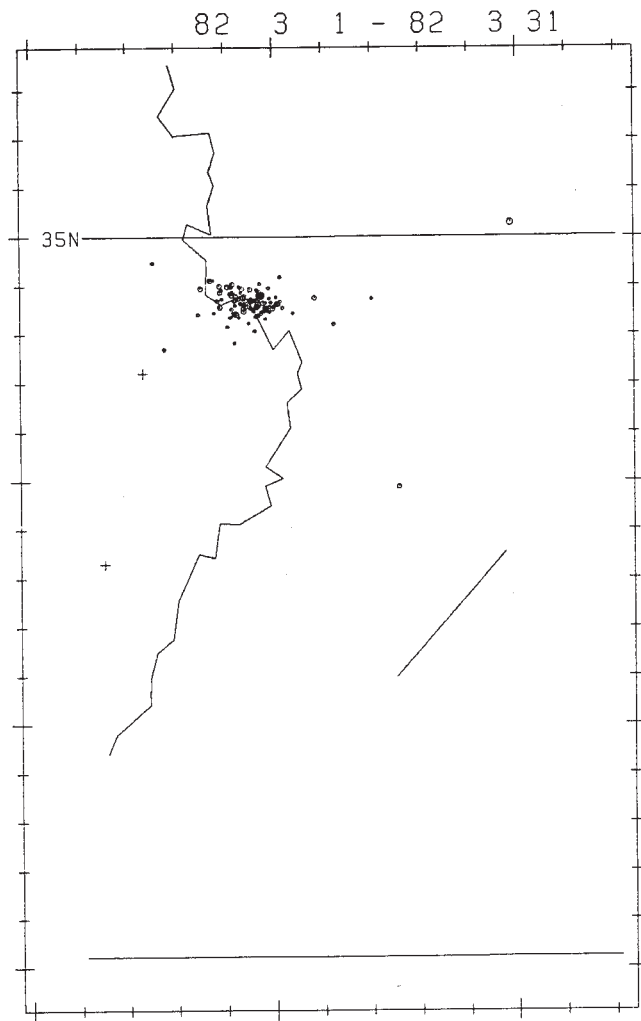


(c) 1979年5月
(c) May, 1979.

第9図 つづき
Fig. 9 (Continued)

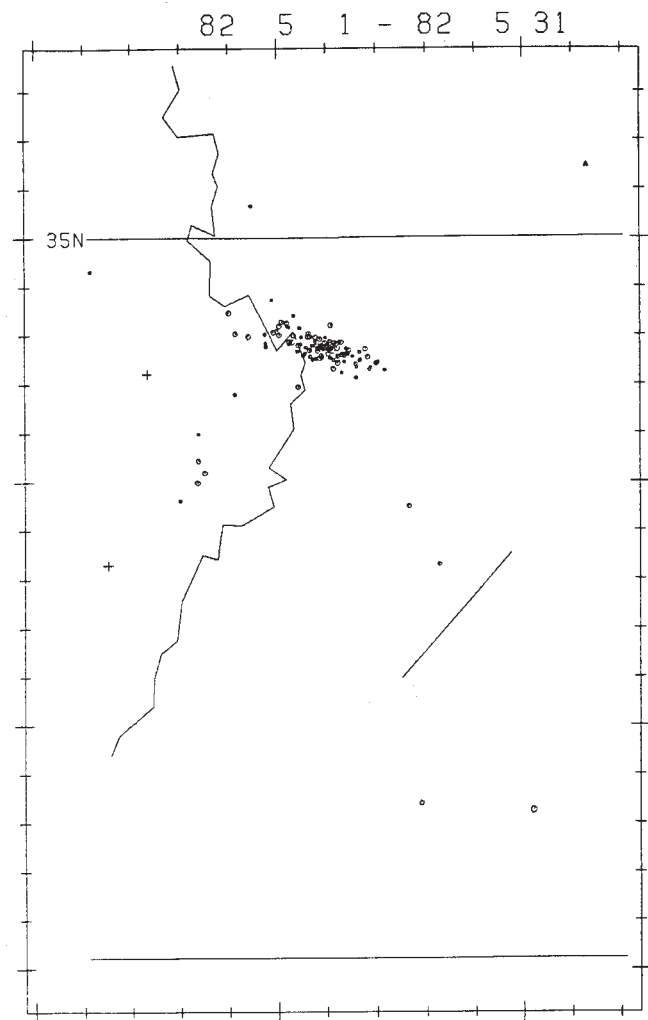


(d) 1980年6月~7月
(d) June - July, 1980.

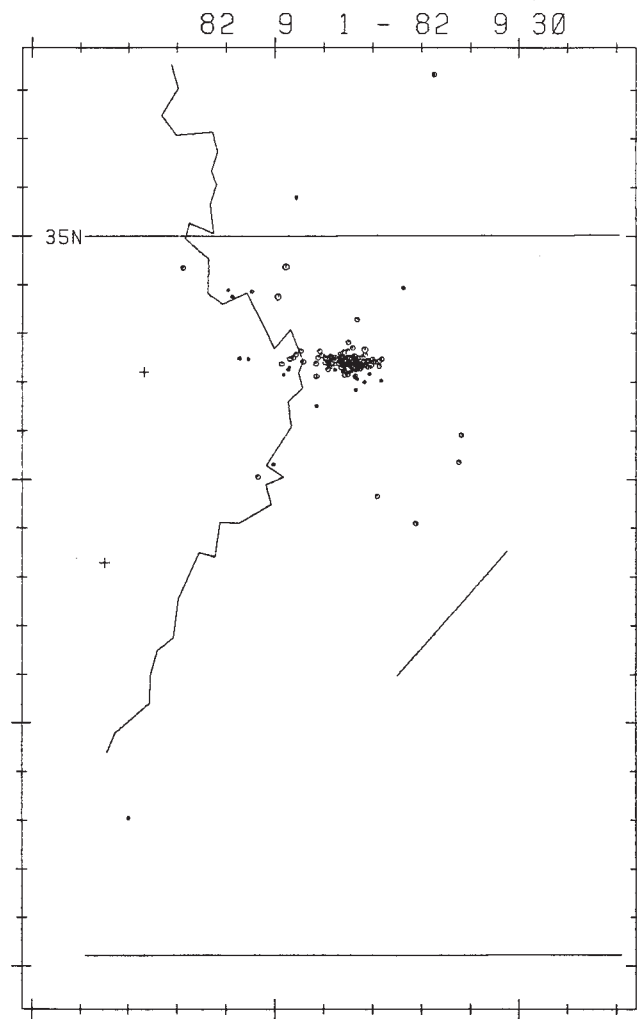


(e) 1982年3月
(e) March, 1982.

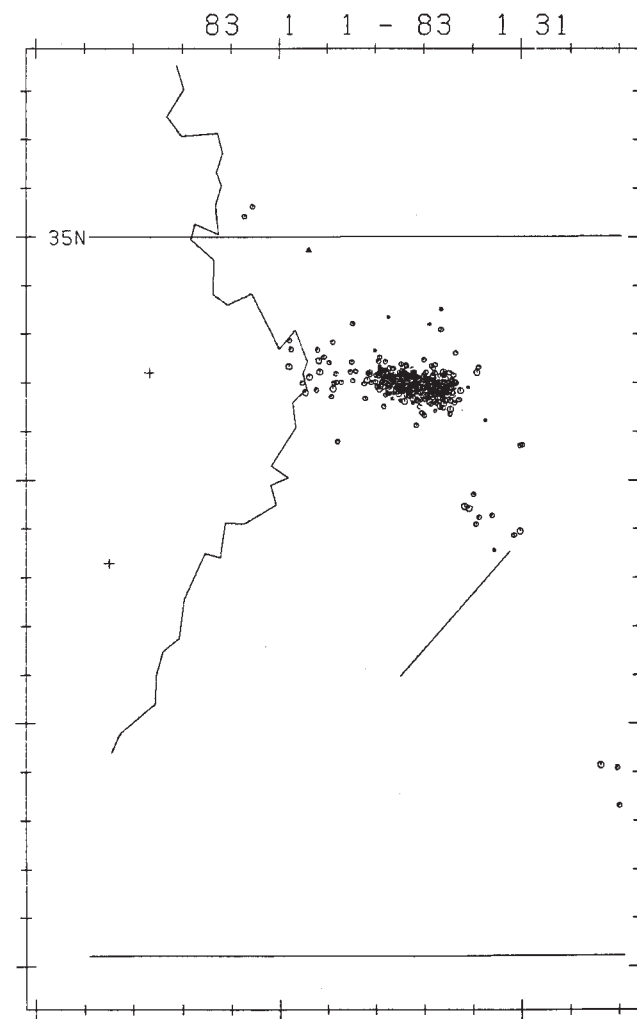
第9図 つづき
Fig. 9 (Continued)



(f) 1982年5月
(f) May, 1982.

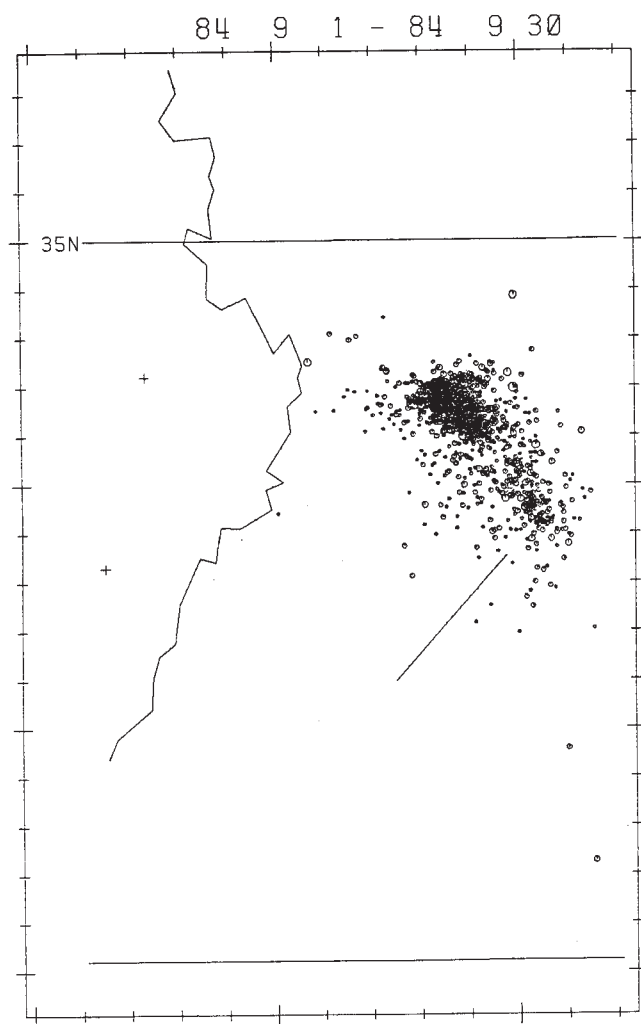


(g) 1982年9月
(g) September, 1982.



(h) 1983年1月
(h) January, 1983.

第9図 つづき
Fig. 9 (Continued)



(i) 1984年9月
 (i) September, 1984.

第9図 つづき
 Fig. 9 (Continued)